



ブラインドシャイン
～屈辱交配の果て～

サングリア宮殿

本編30ページ

R-18



エビルブレインに
捕らわれた



光の騎士 ◆シャインセイバー

改造の末
彼女はとうとう
異質な姿へと変身を
遂げてしまう。



耐えがたい痴態を

嬉々として享受し



ソレ無しでは
生きられない身体に
なってしまった自分を

受け入れるのは
簡単ではなかった…



この首輪は
お前の力を
封じるものだ

これがある限り

戦士の才があらうと
人間の子供程度の
力しか出せん



まずは母体として
我々の新たな戦力を
産み落としてもらう



力が
入らない…

これを
外したところで



何をされても
絶頂する身体じゃ
脱出なんて絶望的…

そろそろ



お食事の
時間じゃねえか？

ブル…

ブル…

…っ

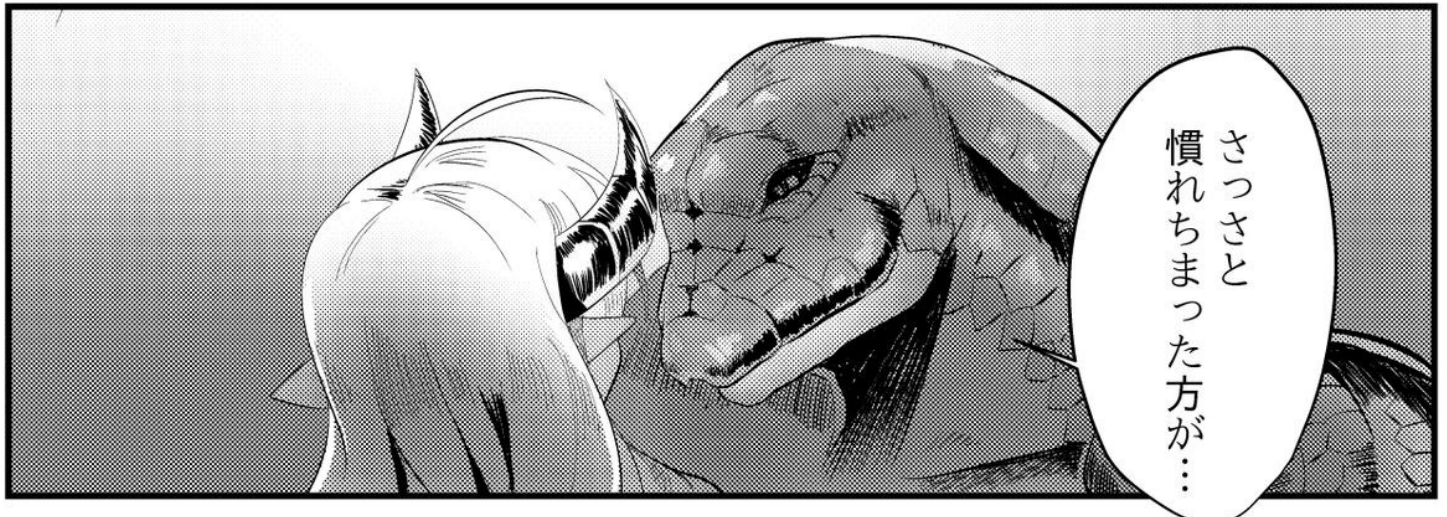




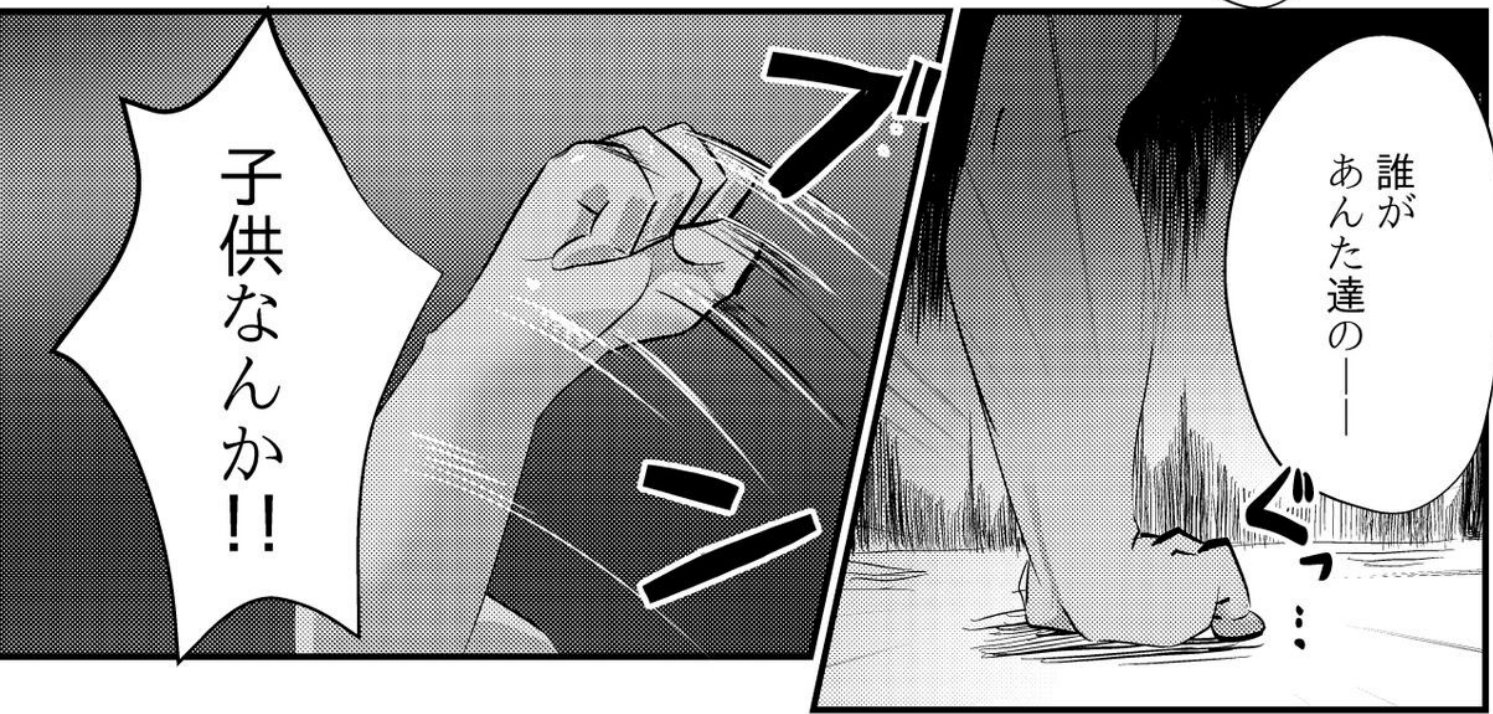
お前が望もうが
望むまいが…

子供の分も栄養が
必要になるんだ

ババ



さつさと
慣れちまった方が…



誰が
あんた達の…

子供なんか!!

グ

ニ

グ
…



痛っ…
こいつ骨を!?

か



痛いのが
お好みつてのは
聞いてた通りだな

やめっ…

くちゅっ…



抑え込んだだけで
この有様だ

まあ大事な母体様だ
修復できる範囲に
抑えてやるから

へちゅあ

安心して
孕むんだな

なにアレ…
蛇のつて
あんな…

ゴクッ

ぬらあああ…

私…今っ
!!

嫌っ!!
離して!!

——つと
抑制しても
暴れられると
面倒だな

あつ
あんなの…

ガ
ミ
イ

あんなの
欲しがるなんて

キウウウ...

離してえ!!

自分から
動いてくれると
楽だったんだが

嫌なのに
わかる...

あんなの
挿入れられたら

んんん...

内側
ひっかいて

トゲが…

動かせば動かすほど
力が抜けていくぞ？

あれだけ
嫌がってたのは
何だったんだ？

じわあ…

あゝんおん
あゝんおん

あゝんおん
あゝんおん

あゝんおん
あゝんおん

あゝんおん
あゝんおん

あゝんおん
あゝんおん

あゝんおん
あゝんおん

あゝんおん
あゝんおん

やっぱり…臆内に
火がついたみたい

だめえ…
キモチイイのに
抗えなくなってる

むり…
もう意識が…

おいおい
もっと鳴いてくれよ
盛り上がらないだろ



一発射精^だして
やるから

それで機嫌直して
くれよな

全身が
締め付けられる…

骨が…
砕かれ…っ

なっ…に？






どっちが気に入った？
膣内射精か？
全身骨折か？
じっくり比べてくれ

ド
キ
キ

キ
キ


ド
キ
キ

知




注ぎ込まれた
魔物の精液が
容赦なく膣内を焼く

鱗で裂かれた肌と
砕かれた骨の再生を
待たぬまま



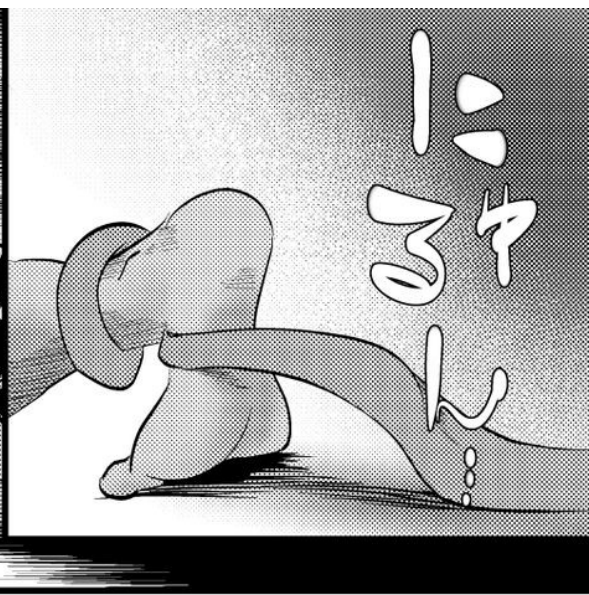
動けない私を使い
次々に交配を
繰り返したが
受精することは
無かった



受精が確認
されなかった
負け惜しみ
同然の希望に
しがみつくと
私のもとに
現れたのは――



ひっ



ひっ
ひっ
ひっ



タ…コ…?



一ヶ月も絡みあうと
感触を覚えるか



おや?
覚えていたか

まさか
コイツ…

手間はあったが
いい格好に
なったじゃないか

しゅる

ひっ

意識もなく
ただ快樂に
身をゆだねたお前を
犯し続けたのだ

かたかた

それだけは…
おねがい…

や…
やめて…

くね

くね

どこを
どう触れば喜ぶか

かたかた

にちゅ

今更隠せるわけが
無からう

くちゅ







私はその後
解放されるまで
実に6時間

子宮での絶頂を
休み無く繰り返し

注ぎこまれた
おびただしい量の
精液は

隙間なく
膈内を満たした



お〜お〜
絶景だな

地上侵略
最大の障害
光の使者
シャインセイバーが

今じゃ
ザーメン大好き
快樂狂いの
孕み袋じゃねーか

せつかくだ
俺の相手も
してくれよ

「剣があつたら
殺してやる」
つて顔だな

むく

もつと愛想よく
しなくて良いのか?



おっと

ツ
ツ
ツ



やっぱりコイツが
気になるか？
なら…

どうしたらいいか
わかるよな？



可愛らしい
鳴き声を
何日も垂れ流して

なかなか
順番が
回ってこねえ

もうお預けは
うんざりだ

わかるだろう？
ご奉仕してみせな

これから
お前を泣かせる
おチンポ様だ

待て

面白い事
思いついたぞ

『前脚』は使うな
頭の後ろにでも
おいとけ

なっ…!!

おっほ
コレだよコレ!

これからは
そうやって
チンポおねだり
するんだぞ?

ブル
ブル

ぱんぱん



おりこうさんだな

『よっ』

ホラ いいぞ





何してるの？ 私…

ムムム

ムムム

ムムム



ホラもつと吸え

取り戻したところだ

上手になっただら？

変身できなきや意味ないのに…

ホタ

ちや子

ムムム



お？
もしかして
泣いちゃったか？

悔し涙か
たまらん面だなあ

んあ

おっと
これじゃご褒美に
なっちまうな

こんな目にあっても
しっかり濡らしてやがる

あ
あ
あ

ここまで
ちよろいメスも
そういねえだろうよ

びち
あ
あ

どうせなら
コツチの姿で
仕込んでやるか

ズズズズ...

ズズズズ...

こいつ
わざわざ
犬の姿で――

どうした？
ケツ上げろ

おねだりくらい
して見せろ

……お願いします

あなたの……精子を

私に

メス犬

ホレ最初からだ
もつとケツ上げて
脚広げな

ぐっ……



お願い…します

何してるの私…

もう試した
じゃない…

精子を…
このメス犬に



もう私は
変身できない

射精^だして
ください…



くくっ…
いいぞ傑作だ

精液なしでは
生きていけない

汚れた生命に
なってしまった

くちゅ
しっかり
受け取りな

悔しくて
声も出せんか？

何が悔しい？
犬との交尾か？

なのに
こんな!!

違うよな？

忌むべき相手に
汚ねえザーメン
おねだりした事か？

こんな状況でも
気持ちよくて

こんな奴の
言いなりに!!

今にも漏れ出しそうな
喘ぎ声を抑えるのに
必死なんだよなあ！



来た来た...

ご褒美の時間だ
たつぷり
くれてやるぞ!!

急に...
苦しく!?

びんびん

ビュッ



あぁ...
あっ

うっ...

ビュッ
ビュッ

ぬっ
抜けな...!?

まだ...
続くの!?

うれしいだろ?
一生懸命ご奉仕
したもんなあ!

もう私...



…いや
駄目だ!!

私は
地上の人々を

守る…!!

たとえ
どんな身体に
なっても
私は…!!



はあ…
はあ…っ!!

諦めない!
私は私の
使命を…!!

っ
!!